

陸上貨物運送業の死亡災害が22.5%増加 「墜落・転落」が最も多い

2015年3月20日 (金)

陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）が20日発表した2014年年間の労働災害発生状況によると、**陸上運送業の死亡災害**による死亡者数は125人となり、前年同期に比べて**22.5%増加**した。負傷者を加えた死傷者数は1万3986人で0.3%の増加。

事故原因は「**墜落・転落**」が4026件で最も多く、「**転倒**」が2125件、「**動作の反動・無理な動作**」が1852件、「**挟まれ・巻き込まれ**」が1651件、**交通事故(道路)**が1010件と続いた。

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ **交差点手前**で止まる時は、**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

高齢化で、転倒による労災増加 ◆荷台の登り下り、作業中、足元の確認◆

2015年3月21日(土)16時48分

和歌山県内の労働災害（休業4日以上）に占める**転倒**の割合が近年、**増えている**。2009年は15%以下だったのが毎年増加し、14年は初めて**20%**を超えた。和歌山労働局によると、**労働者の高齢化**、転倒は**有効な対策が取りにくい**ことなどが要因だが、**重大な災害につながる可能性**もあり、事業場に防止措置を講じるよう啓発していく。転倒は高い場所からの墜落転落とは違い、**同一平面上でつまずいたり滑ったりして転ぶ**ことを指す。転倒による労災は、**50歳以上が毎年約6割**を占めていて、**高齢化による体力の衰え**が大きな原因とみられるという。また、墜落転落などは対策が可能だが、転倒は有効な対策が取りづらいことから、相対的に割合が上がっていることも想定される。

70代女性が新聞集金中に**下り坂で滑って足を骨折**、旅館業の60代女性が**床がぬれていた洗い場で転んでラックで胸を強打**、運送業の30代男性が**トラックの荷台から凍っている地面に降りる際に、転んで腰を捻挫**したなどの事例があった。

タクシー運転手 「前をよく見ていなかった」

横断歩道のない場所 はねられ高齢者重体

(2015/3/22 15:24)

22日午前4時前、大分県で**道路を横断**していた85歳の男性が、**タクシーにはねられ、意識不明の重体**です。タクシーに当時、客は乗っていませんでした。男性は**横断歩道のない場所**で道路をわたっていたとみられています。警察によりますと、タクシー運転手（65）は「**前をよく見ていなかった**」と話しているということです。

信号のない交差点、出会い頭に衝突 82歳女性が死亡

(2015年03月22日 18時08分)

22日午前10時5分ごろ、富山県の**信号機のない県道交差点**で、病院事務員の女性（59）が運転する**乗用車**が**左から来た乗用車と出会い頭に衝突**しました。この事故で、女性の車に乗っていた母（82）が全身を強く打って**外傷性ショックで死亡**しました。また、同じ車に乗っていた母の妹（80）は、**ひ臍を損傷**するなどして**重傷**。現場は、**見通しのよい交差点**で女性が走行していた市道側に**一時停止の標識**がありました

高校の54歳教諭、酒気帯び運転で現行犯逮捕

2015年3月23日(月)6時32分

山梨県で車の衝突事故があり、公立高校の教諭が、**酒気帯び運転**の現行犯で**逮捕**された。22日午後4時ごろ、**駐車場で、乗用車が停車中の軽トラックに衝突**する事故があった。乗用車を運転していた公立高校教諭の男性容疑者(54)の呼気から、基準を超えるアルコールが検出されたため、警察が酒気帯び運転の現行犯で逮捕した。容疑者は、容疑を否認しているという。